

平成 30 年 8 月 22 日

～昔ながらの製本技術で絵日記帳を作成～

小さな博物館で子どもたちがワークショップ！

本日、すみだ 3 M 運動 “小さな博物館” の 1 つである「名刺と紙製品の博物館 “SAKURA TERRACE”」（立川 3 - 1 - 7 株式会社山櫻墨田支店 3 階 館長・南 啓子 氏）で、夏休みこどもクラフト教室「日本の伝統文化を体験しよう～竹紙を使って本の綴じ方『和綴じ』でオリジナル絵日記帳をつくろう」を開催した。同館ではこの時期に平成 22 年から子ども向けワークショップを行っており、毎年好評を博している。今年は、環境負荷が少ない「竹」を 100% 使った“竹紙”を使用して絵日記帳を作るワークショップを行った。

午後 1 時 30 分、小学校 1 年生から 6 年生までの児童 13 名が集まり、ワークショップがスタートした。はじめに、日本の伝統技術である和綴じについて説明を受けた後、魚や動物の絵柄が入った絵日記帳の表紙を 1 種類選んで、早速ワークショップを開始した。講師の話聞きながらハサミを使って和綴じのヒモを切ったり、のりで紙をつけたりし、参加した子どもたちはみな真剣に絵日記帳作りに励んでいた。その後、スタンプやマスキングテープなどを使って、子どもたちは絵日記帳に思い思いの装飾を施した。細かい部分を切る難しい作業も、親子で協力しながら取組み、午後 2 時 30 分終了。参加した子どもたちには、手作りで作れる封筒キットや東京スカイツリー®の写真が入った自由帳がプレゼントされた。

本日、お母さんと一緒にワークショップに参加した佐藤真咲さんは「紙をヒモで綴じる作業は大変だったけど、自分だけの絵日記帳が上手に作れて楽しかった。」と感想を話していた。

来年も同館では、子ども向けワークショップを開催する予定。



<すみだ 3 M 運動について>

墨田区では、昭和 60 年から区内産業と生産品の P R とイメージアップを目的として、区内の産業や文化に関するコレクションを展示する「小さな博物館 (Museum)」、製造現場と販売店舗が一体となっている「工房ショップ (Manufacturing Shop)」、付加価値の高い製品を創る技術者を認定し優れた技を普及・継承する「マイスター (Meister)」の 3 つの M の頭文字を取った「3 M 運動」を展開している。墨田区は、東京スカイツリーの開業を契機に、区内を訪れる観光客にも、観光資源としての「すみだのものづくり」を体感してもらおうと、子ども向け職業 (職人) 体験事業「アウトオブキッズニア in すみだ」をスタートさせるなど、観光と産業の融合を図る様々な事業を展開してきた。

10/12 (金) ～ 17 (水) まで、3 M スペシャルウィークを実施予定。

(すみだまち処での特別展示、ワークショップなど)

< 名刺と紙製品の博物館 “ SAKURA TERRACE ” について >

昭和 20 ~ 30 年頃使われていた名刺製作のための道具展示のほか、オリジナルブランド「+lab(プラスラボ)」の商品を販売。不定期開催の企画展や毎年好評であるワークショップも開催している。さらに、常設展「55 × 91 が出会いをつなぐ ~ 山櫻の名刺ができるまで ~ 」は、創業以来、人と人、会社と会社、様々なもの出合いをつないできた同館の名刺へのこだわりを製造工程とともに紹介している。